

# 沖縄・全世界の闘う労働者人民と連帯し

## 木更津駐屯地への オスプレイ配備を許すな！

千葉県労働者会議・全日本学生自治会総連合(伍代委員長)

東京都杉並区下高井戸1-34-9 03-3329-0165/0168 <http://zengakuren.info>

防衛省は、米軍普天間飛行場に配備されている米海兵隊のMV22オスプレイを、今年の1月より陸上自衛隊木更津駐屯地での整備拠点化を開始し、10月中にも木更津基地周辺で試験飛行を強行しようとしています。更に佐賀空港への陸自のオスプレイ配備計画が地元の反対運動でメドが立たないことを口実にして、防衛省は木更津駐屯地への「暫定配備」を強行しようとしています。このオスプレイは昨年12月、沖縄・名護市沖で墜落・大破する大事故を起こすなど、連日のように事故を多発させています。人民虐殺のための輸送機であり、事故を多発させていくオスプレイが配備・飛行することを許してはなりません。オスプレイの整備拠点化・「暫定配備」を阻止し、木更津駐屯地を解体しましょう。

### オスプレイの整備拠点化・暫定配備は「戦争出撃拠点化」だ

政府がオスプレイの整備拠点を木更津駐屯地に選んだのはなぜか？まず、米軍横田基地や陸自・習志野駐屯地から近いからです。米軍横田基地は3年延期されたが米空軍CV22オスプレイが10機配備されようとしています。また、習志野駐屯地には陸自の第一空挺団と特殊作戦群が本部を置いています。第一空挺団は木更津の第一ヘリコプター団と一緒に運用されています。佐賀空港に配備が狙われている陸自のオスプレイ（17機）は、佐

世保の陸自相浦駐屯地に新設される「水陸機動団」（＝日本版海兵隊）と一体で運用されます。これらの整備拠点も木更津駐屯地に決定しています。このような中で佐賀空港に配備予定のオスプレイが木更津に「暫定配備」を目論まれています。最低1、2機は常に整備のために木更津に駐機する上に、「暫定配備」で更に常態化するのは明らかです。もはや常駐基地と言えます。絶対に許してはなりません。

### 「第一ヘリコプター団」は人民虐殺＝治安出動部隊だ

「第一ヘリコプター団」は防衛省直轄の「海外活動やテロ・ゲリラ対処を担う部隊で構成」される中央即応集団に所属しますが、これは全世界や自國労働者人民の闘いを「テロ・ゲリラ」と称して鎮圧する、人民虐殺部隊の基軸部隊です。

また、オスプレイや第一ヘリコプター団の大

型輸送ヘリCH47は「離島奪還」や「敵地先制攻撃」を担う部隊を真っ先に現地に輸送し、戦争の口火を切る文字通り「敵地急襲作戦機」です。

このような「第一ヘリコプター団」やオスプレイ配備を絶対許してはなりません。

### 沖縄労働者人民の「高江ヘリパット建設・辺野古新基地建設阻止、オスプレイ配備阻止」の闘いと連帯しよう。

これまでオスプレイは事故を繰り返し、15年5月には米海兵隊のMV22オスプレイがハワイで墜落

事故を起こし乗員2人が死亡、20人が負傷し、そして、昨年12月、米海兵隊のMV22オスプレイが制

御不能になり、沖縄・名護市沖80メートルの浅瀬に墜落し、大破しました。更にこの半年間でも、海外では今年8月オーストラリア沖で墜落3人死亡、9・29シリアで墜落2人負傷。国内では6月伊江島補助飛行場と奄美空港緊急着陸、8・28米軍岩国基地で白煙を起こし、翌日大分空港緊急着陸、9・29オイル漏れで新石垣空港緊急着陸など、いずれも米陸軍所属のオスプレイです。

その上、10月11日沖縄東村高江で米海兵隊大型輸送ヘリコプターCH53が大破・炎上する大事故が発生しました。絶対許してはなりません。

ふたたび沖縄を戦場にさせない、戦争出撃基地を造らせないとして、連日の機動隊のテロや不当逮捕を許さず身体を張って闘う沖縄労働者人民と連帯して闘おう。

## 朝鮮反革命戦争阻止 米軍・自衛隊、基地解体

米日韓は、長期にわたって朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を戦争的包囲のもとにおき、さまざまな「制裁」をとおして北朝鮮スターリン主義国家を倒壊させようとしてきました。年に何度も、

「米韓（日）合同演習」を38度線近くで挑発的に繰り返し、北朝鮮指導部暗殺部隊の創設や「作戦5015」にみられる「斬首作戦」訓練などを強行しています。米帝トランプ、日帝安倍やブルジョアマスコミは、北朝鮮のミサイル発射や核実験を「挑

発」と言いなしていますが、戦争挑発をしているのは、トランプであり安倍です。

南朝鮮労働者人民は、米軍の高高度迎撃システム（THAAD）配備阻止、在韓米軍撤去の闘いを不屈に闘い抜いています。南朝鮮労働者人民の闘いと連帯し、差別・排外主義を許さず、朝鮮反革命戦争を阻止しよう。戦争挑発者＝安倍・トランプを許すな。11月トランプ来日＝日米戦争会談を粉砕しよう。

## 戦争・ファシズムー改憲に突撃する安倍連合政府を打倒しよう

ファシスト安倍を頭目とする自民党による改憲攻撃は、戦争突撃と階級支配のファシズム的転換の攻撃と一体です。

安倍は、憲法九条に自衛隊を明記し、「緊急事態条項」を成立させて、改憲と「戦争する国」へ転換することをねらっています。これらに小池の「希望の党」や「維新の会」が合流しようとしています。「残業代ゼロ法案」などの労働法制を改悪し、争議を非合法化し、労働者の総「非正規」化を促

進し、低賃金と窮屈化に叩き込もうとしています。オリンピックや天皇代替わりに反対するものには、「反テロ」キャンペーンのもとで、「共謀罪」をもって弾圧するという、攻撃を絶対許してはなりません。

戦争・ファシズムと改憲攻撃はひとつのものです。改憲を断固阻止し、安倍連合政府を打倒しましょう。

## 三里塚・農地取り上げ＝戦時土地徴発を実力阻止しよう

三里塚闘争（＝成田空港廃港闘争）は重大な決戦局面を迎えてます。

反対同盟は、市東さんを先頭に現地攻防を強化すると共に、農地強奪の最高裁決定を許さず請求異議裁判を闘っています。日帝は成田空港建設を「国策」として強行しています。成田空港は朝鮮半島有事の際には50万人米軍の兵站・出撃拠点になります。戦争・「国策」のために、3代100年耕している農地を強奪（戦時徴発）しようとしてい

るのです。反対同盟農民を叩き出し、三里塚闘争を破壊し、また、第三滑走路の建設を強行しようとしています。

〈空港絶対反対、徹底非妥協、実力闘争〉を51年間先頭で牽引してきた北原鉱治反対同盟事務局長の遺志を引き継ぎ、闘う市東さんを先頭とする反対同盟と連帯し、現地実力攻防、農地死守決戦を爆発させよう。11・6請求異議裁判（千葉地裁）に結集しよう。